

【成績評価】

- (1) 成績は、科目担当教員が試験（筆記、口頭、実技等）、レポート、授業参加状況（発表等）を総合的に判断して評価します。成績評価の方法は講義要項を参照してください。
- (2) 成績は、原則として**素点（0～100）で発表**されます。
ただし、次のような表示で発表される場合もあります。
[――]印： **未 受 験**（試験等を未受験の場合）
[XXX]印： **評価に値せず**（出席不良等で評価に値しない場合）
- (3) 成績の評価は、S・A・B・C・Fで表記します。評価基準は次のとおりです。

合否	評価	素点等	成績の状況
合格 (単位修得)	S	100～90点	特に優れている 学修の成果が到達目標を十分に達成できている 非常に優れた成績に与えられます。
	A	89～80点	優れている 学修の成果が到達目標を十分に達成できている 優れた成績に与えられます。
	B	79～70点	良好 学修の成果が到達目標を達成できている 成績に与えられます。
	C	69～60点	合格と認められる最低限 学修の成果が到達目標を最低限達成できている 成績に与えられます。
不合格	F	59～0点	合格基準に達していない 学修の成果が到達目標を達成できていない場合です。
		[――]	
		[XXX]	

※不合格となった科目は、次年度以降、学業成績表の「不合格科目欄」に記載されます。

- (4) 通年科目は、前期に成績発表を行わず、後期に通年評価としての点数を発表します。
- (5) 不合格となった科目は、次年度以降、学業成績表の「不合格科目欄」に記載されます。「不合格科目欄」に記載された科目は、原則として、次年度以降再履修し、単位修得すると抹消されます（科目担当教員が異なっても構いません）。
- (6) 学科専門科目「教職」分野の各科目、教職課程科目（教科及び教科の指導法に関する科目のうち教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等、大学が独自に設定する科目）は、不合格になっても評価に[F]は付きません。また次年度以降も、学業成績表の不合格科目欄に記載されません。

【GPA制度】

GPA (Grade Point Average) とは、科目毎の成績素点に対してGP (Grade Point) を設定し、その科目の単位数を加味して1単位あたりのGPの平均値を表したもので、学修状況を総合的に示す指標です。GPAは次のとおり算出します。

(1) 各科目のGPを求める

$$GP = (\text{成績素点} - 55) \div 10$$

ただしGPが ① 0.5 未満のときは、GP = 0.0 (59点以下)

② 0.5~0.9 のときは、GP = 1.0 (60点~64点)

③ 4.1~4.5 のときは、GP = 4.0 (96点~100点) になります。

◆評価・成績素点・GP対照表

評価	素点	GP	評価	素点	GP	評価	素点	GP	評価	素点	GP	評価	素点	GP
S	100	4.0	A	89	3.4	B	79	2.4	C	69	1.4	F	59~0 「XXX」 「----」	0.0
	99	4.0		88	3.3		78	2.3		68	1.3			
	98	4.0		87	3.2		77	2.2		67	1.2			
	97	4.0		86	3.1		76	2.1		66	1.1			
	96	4.0		85	3.0		75	2.0		65	1.0			
	95	4.0		84	2.9		74	1.9		64	1.0			
	94	3.9		83	2.8		73	1.8		63	1.0			
	93	3.8		82	2.7		72	1.7		62	1.0			
	92	3.7		81	2.6		71	1.6		61	1.0			
	91	3.6		80	2.5		70	1.5		60	1.0			

(2) GPAを求める

$$GPA = \frac{(\text{履修登録科目のGP} \times \text{その科目の単位数}) \text{の総和}}{\text{履修登録科目の総単位数 (不合格科目含む)}}$$

①GPAの対象とならない科目

- ・学科専門科目「教職」分野の各科目、教職課程科目（教科及び教科の指導法に関する科目のうち教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等、大学が独自に設定する科目）
- ・履修登録の取り消しが認められた科目
- ・素点を示さず、単位認定された科目

②GPAの値は、小数第3位を切り捨てて、少数第2位まで表示します。

(3) GPAの発表

GPAは、学業成績表に学期（前期・後期）・年度・累積の3種類を記載します。また、成績証明書に累積のGPAを記載します。